

目に見えない大切なもの

第二コリント四・一六〜五・一

今日は「大人と子ども共に賛美しようの日」の第一回。小学生の方々も初参加で少し緊張していますか？ 大丈夫、すぐ慣れて楽しめますよ。

さて、今日の聖書に「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます」とありますね。世の中には二種類のものがあります。目に見えるものと目に見えないもの。見えるものとは？ 例えばこの椅子、机、本……。すぐ分かりますね。では見えないものは？ 少し難しい。みなさん、目を閉じてみてください。見えないけれど、あるもの、一体何でしょう。そう、心、ですね。そして心の中にあるいろんなこと、誰かを好きとか、愛しているとか……。では、もうひとつ質問。見えるものと見えないもの、大切なのはどっち？ うーん、これも難しい。聖書はこう言っています。

「見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続します」。

ここにほら、ボールペンがありますね。ホームセンターで七〇円位で買いました。いろいろ書いて、あれ、書けなくなつたというとき、ぱいと捨ててまたお店で買うかもしれせん。見えるものはこんな感じ。過ぎ去るのです。

でもね、もしこのペンが、大好きなお友達と一緒にお店に買って、二人おそろいで買ったものだったらどうしますか？ ペンをもつたび、お友達のこと思い出して、あのとき楽しかったな、また遊びたいなとか考えて。やがて同じように書けなくなつてしまった。そのとき、同じように捨てますか？ そう、捨てませんよね。なぜでしょう。目に見えない大切なものがそこにあるからです。ペンが書けなくなつてもなくならず、ずっと、永遠に続く。そんな目に見えないものについて目を注いでいたいですね。